

報道関係者各位

2020年12月21日（月）  
株式会社明電舎

12月18日（金）稼働式開催  
**明電舎 名古屋EV工場新ライン本格稼働のお知らせ**

<EV工場外観>



このたび、株式会社明電舎（取締役社長：三井田 健/東京都品川区、以下明電舎）は、EV事業の更なる安定と拡大を目的に、名古屋事業所内に生産ライン構築を進めておりました、電気自動車用モータ・インバータの新ラインが完成し、12月18日に稼働式を執り行いました。

本投資は、中期経営計画2020における成長投資枠の一環として行うもので、拡大するEV市場の要求に対応することを目的に、当社初の車載用モータ・インバーター体機の生産工場として、更なる事業規模拡大を目指します。

稼働式には、畠山一成中部経済産業局長、大村秀章愛知県知事他、多数の来賓の皆様にもご出席いただき、当社社長三井田と共に、式典後のテープカットにもご参加いただきました。



左から、中部経済産業局 畠山局長、  
明電舎 取締役社長三井田、愛知県 大村知事

「脱炭素社会」の加速、自動車の電動化・情報化・知能化の技術が急速に進化する中、当社は、「電動化」に注力し、今後も車の自動化を通じて社会に貢献すべく、EV事業に注力してまいります。



稼働式にて

写真①左：明電舎社長 三井田  
右：中部経済産業局 畠山局長

写真②左：明電舎社長 三井田  
右：愛知県 大村知事

■ EV工場建屋概要及び設備導入

- ・延べ床面積：約 4,600 m<sup>2</sup>
- ・生産能力：17 万台/年（最大年間生産台数）
- ・製品の特長
  - モータ・インバータの一体化
    - ⇒これまで 2 拠点でモータ、インバータを製作していたが、名古屋では一体型を製作
  - 平角線の採用による高効率化
    - ⇒従来の丸線を平角線に変更し、高効率化を図った
- ・徹底した品質管理
  - 生産の自動化
    - ⇒自動化率を向上し、ヒューマンエラーを排除
  - 画像検査
    - ⇒欠品検出、ネジ穴・ケーブル位置検出、締め付け位置管理等
  - 温度管理
    - ⇒焼嵌め条件の管理、接着剤硬化条件の管理等
  - 工程データの一元管理
    - ⇒トレーサビリティデータベースとの連携